

令和6年度 事業報告書：（生活介護）

1. 総 括

今年度は、年度途中での契約利用者数が増え一時18名になり、その後2名が他事業所の利用という理由と、1名がなじめないという理由で退所となった。

また1Fで過ごす利用者も増え、Aチーム・Bチーム・1Fチームと活動グループの幅が広がった。

「はたらく・たのしく・たくましく」を念頭に置きながら、余暇や軽作業などに取り組み、特に余暇活動では昨年のアンケートをもとに計画を立て利用者さんやご家族の要望を取り入れた活動となった。「楽しかった」「また行きたい」という声を聴くことができた。

感染症対策においては週初めの職員の定期的な抗原検査を継続した。職員、利用者さんともに同じルールのもと、家庭内で陽性者が出たときには自宅療養などご家庭の協力も得ることができた。

来年度はいよいよ6月ごろダックの移転が控えている。

職員間でも意見を出し合いながらスムーズな移転計画を策定していく。

2. 利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	14	14	16	17	18	18	18	17	16	16	15	14	193
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	4
稼働日数	22	22	21	23	20	20	23	21	21	20	19	21	253
延利用者数	254	249	251	277	250	263	293	252	263	234	196	226	3,008
1日平均利用者数	11.5	11.3	12.0	12.0	12.5	13.2	12.7	12.0	12.5	11.7	10.3	10.8	11.9

※主な欠席理由…体調不良、精神不安定、家事都合、他事業所と併用利用

利用者障害支援区分（令和7年3月現在）

区分3	区分4	区分5	区分6
1人	5人	4人	4人

※平均区分 4.78

3. 担当職員（直接処遇職員 9名）

サービス管理責任者：青木

看護職員：板鼻

生活支援員：後藤（～10月産休・育休）、佐々木（～5月）、富澤、宇賀神、高波、金子、三木（1月～）

4. 年間支援実施内容

・日課 Bチーム

- 9:30 受け入れ・バイタルチェック
- 9:50 朝の会・ラジオ体操・掃除
- 10:15 お茶
- 10:30 午前の活動
軽作業・ATM 清掃・散歩・室内レクなど
- 12:00 昼食・はみがき
- 13:00 検温・午後の活動
クラブ活動（創作、やま。音楽、ダンス）・軽作業・ドライブ等
- (15:00 毎週火曜日はコーヒータイト ※インスタントコーヒーを自分で
作って飲むという体験)
- 15:15 お茶
- 15:30 帰りの会
- 16:00 送迎

Aチーム

- 9:30 来所
 - 9:50 ラジオ体操
 - 10:10 午前の活動（自立課題・1to1・軽作業・室内運動）
 - 12:00 昼 食
 - 13:00 午後の活動（自立課題・1to1・軽作業・室内運動）
 - 15:40 帰りの準備
- ・休憩の過ごし方の変更をするなどの個別のスケジュールの見直しをしたり、猛暑の時期には室内運動をお休みしてきた。
 - ・毎月の工賃買い物では継続的に実施したことで好きなものを選べるようになった方もいた。
 - ・偏食の方で苦手な給食の日は代わりにカップ麺を持参していただいていたが、月に2回ほどお弁当を購入する日を作り少しでもバランスの良い食事をとれるよう支援した。

○創作クラブ（第2、第4金曜）

- ・月2回の創作クラブ実施（第2金曜のみ外部講師あり）
- ・公募展への応募（Viewing 展、ヘラルボニー公募展）
- ・独協医科大学作品展示協力

- ・2次利用に関する承諾書を作成し、ダックが仲介して作品を提供し工賃が発生することの承諾を得た。
- ・作品2次利用
コブル コーヒーパッケージ 9作品
(渡邊さん①吉岡さん①田中さん①星野さん①神戸さん②金田さん③)
Thankyou ポストカード～2024 (岸さん)
- ・CCV 文化祭での作品展示

○やまくらぶ

- ・月2回第2、第3水曜日の午前実施
コース：多気山、茂呂山、城山公園、富士山公園
*実施週、曜日の変更があった。
(ATM 清掃日の変更により)(工賃日と重なるため)
*7月～9月は熱中症対策のため休み
- ・年2回の遠征(目的：健康、体力の維持、運動不足解消)
5月 古峰ヶ原高原 11月 古賀志山

○ダンスクラブ

- ・令和6年度は、ダンスクラブを毎週月曜日、午後の実施を予定して開始。他の活動との兼ね合いもあり、11月からは第1、第3、第5金曜日に変更して行った。
- ・動画を流しているだけのことが多く、練習するモチベーションにならなかった。

○アロママッサージ

- ・毎週火曜日の午前中に、外部講師の伊東朱美さんに出張していただき行った。

○自主製品・下請け作業(わんこ・ペン箱詰め・ATM 清掃・新聞折込)

収入	合計	291,364 円	(円)
・ATM	計	116,820 円	(44,528 円)
*今年度よりアコム清掃が増え去年より増加			
・ロイヤルペットデリ	計	111,812 円	(△5145 円)
・下請け作業			
ゼブラ	35,300 円	(14,200 円)	
チラシ	27,432 円	(△3,427 円)	*5月で作業終了のため
	計	62,732 円	
支出	合計	224,651 円	
容器包材費	計	1,562 円	

材料仕入れ	計	29,732 円
オープン電気代	計	58,607 円
工賃支給	計	134,750 円
ATM 作業帽子		
シーラー熱線		
収支合計	66,713 円	2025.2 現在

- ・係活動（日直、お茶運び、コップ運び、ラジオ体操、挨拶係）
全員の活動ではないが経験を重ねることによって自分の役割理解し意欲的にとりくめた。
- ・レクリエーション（輪投げ、玉入れ、黒ひげ、ジェンガ、パズルなど）
個別での活動が多く、活動が分かれてしまいまとまりがなかった。
肢体不自由のある利用者用に1階にもスケジュールボードを作りわかりやすくした。
- ・個別対応（足湯マッサージ、ドライブ、自販機買い物、相談支援など）
- ・土曜開所日の設定
毎月第1土曜日を開所した。土曜開所日の活動内容は主に利用者さんの要望を取り入れ行った。
しかし土曜日はすでに他事業所を利用していたり、家族と一緒に過ごしたいという要望も多く出席者は少なかった。
- ・余暇活動
月1回の余暇活動は毎月楽しみを持てる活動となった。
【行ってきた活動】
4月 カラオケ
5月 いちご狩りを予定していたがいちご農家の都合で中止
6月 ナイスハートふれあいのスポーツ広場招待
7月 LRTに乗ってショッピング（ベルモール）
8月 夏祭り
9月 カップケーキ作り
10月 みかん狩り（那須烏山 国見）
11月 東武動物公園（家族参加）
12月 劇団四季ミュージカル招待、クリスマス会

1月 20歳を祝う会（岡村さん）

2月 Viewing 展 2025@栃木県総合文化センター

3月 外食（ラーメン）

※その他、毎月工賃支給日の買物を実施した。工賃買物は楽しみになっていて作業などの意欲にもつながっている。

5. 生活支援

生活体験（買い物、窓拭き、裁縫雑巾縫い、洗濯、コーヒーの日など）

成果 ・ 買い物、コーヒータイムともに利用者の皆さんのモチベーションにつながっている。

課題 ・ 成功体験、達成感につながるような生活体験ができていない。

健康管理 ・ 健康チェックシートで家庭と共有

- ・ バイタルチェック（体温、血圧、脈拍）健康チェック（体重、給食摂取量、排泄確認）
- ・ 服薬支援（食後の服薬の見守り、服薬の記録、頓服の保管）
- ・ 口腔ケア（仕上げ磨き）
- ・ 健康相談の記録
- ・ 6月歯の健康、歯科健診についてのお知らせ配布
- ・ 11月インフルエンザ予防接種
- ・ 感染症の対応についてのお知らせ、通所届配布（インフルエンザ、ノロウイルスも啓発）
- ・ 12月健康診断、健診後再受診の確認
- ・ 感染予防対策継続（健康チェックシートにて通所前の検温、できる人はマスク着用のお願い、昼食後ピューラックスで食器の消毒、テーブルや室内などのアルコール消毒）
- ・ 利用者、職員の定期的抗原検査の実施
- ・ 発作の記録用紙作成、記録
- ・ 救急箱購入
- ・ 病気での欠席日数21日、欠席者数6名、症状（発熱、咳、咽頭痛、下痢、嘔吐、頭痛）

成果 ・ 利用者、職員の定期的抗原検査実施で安心して過ごせた。利用者は感染者数増加のため7/23(火)～10/7(月)の週末までの週一回最初の利用日に実施。感染者数増も落ち着き利用者も陰性反応と予防できていたため終了した。職員は週一回週初めの出勤日に実施。

- ・午後の検温で発熱がわかり、体調の変化に気づけ早退の対応をとった。
- ・大きな病気や怪我などなく健康に過ごせた。
- ・口腔ケアを重点的に取り組めた。

課題 ・感染対策指針の作成ができていない。

- ・口腔ケア（仕上げ磨き）を他の必要な人にも対応していきたい。

6. 職員会議、支援会議

（１）職員会議

＊各月の行事報告、日中一時報告、各委員会・管理者会議報告、翌月予定確認を行った。

4月27日 余暇活動総括と計画（カラオケ・いちご狩り・山クラブ遠征）

国会請願署名運動についての勉強会

5月25日 余暇活動総括と計画（山クラブ遠征・ナイスハート・いちご狩り）、研修報告（栃木県立聾学校特別支援連携協議会、新任研修、ガイドヘルパー伝達研修）、会議報告（移転mtg、管理者会議、虐待防止委員会、広報委員会）

6月22日 余暇活動総括と計画（ナイスハート・山クラブ遠征・LRT）

傾聴研修会

7月27日 余暇活動総括と計画（LRT・夏祭り）研修報告（きょうされん重度重複部会、感染対策研修会）

8月24日 余暇活動総括と計画（夏祭り・スイーツ作り・果物狩り・東武動物公園）

研修報告（てんかん研修）、虐待防止委員会報告、送迎について

9月21日 余暇活動総括と計画（スイーツ作り・みかん狩り・東武動物公園）ヒヤリハット（西村さん朝の受け入れ時の全身チェックについて）会議報告（移転mtg、虐待防止委員会）

10月26日 余暇活動総括と計画（ミカン狩り、東武動物公園）研修報告

（自閉症の特性とコミュニケーション）

11月23日 余暇活動総括と計画（みかん狩り、山クラブ遠征、東武動物公園、クリスマスチャリティー公演、クリスマス会）

研修報告（自閉症支援セミナー、きょうされん全国大会）

12月21日 余暇活動総括と計画（クリスマスチャリティー公演、クリスマス会、20歳を祝う会

（２）支援会議

- ・職員会議と併せて毎月1回実施した。
- ・個別支援計画の策定や支援についての情報共有
- ・西村さんの身体拘束等に関する経過観察・再検討

- ・翌月個別支援計画の策定を行う方の中間評価、個別の評価として現在どのよう
うに過ごせているかを振り返る事項を作った。

(3) 総括会議

1/18 (土)PM、25 (土)

【協議事項】

- ・令和6年度 分野別報告及び年度のまとめ

2/15 (土)、22 (土) PM

【協議事項】

- ・令和7年度 分野別計画及び年度方針

7. 職員研修

- 5月20日 栃木県聾学校特別支援連携協議会（青木）
- 6月22日 傾聴研修会
- 6月25日 きょうされん重度、重複部会看護師交流会（zoom）（板鼻）
- 7月 8日 感染対策コーディネーター研修会（板鼻）
- 8月 8日 てんかん診療連携関係者研修会（zoom）（板鼻）
- 10月 2日 ADS の特性とコミュニケーション支援
（富澤、宇賀神、高波、金子、佐々木）
- 11月 2日 自閉症支援セミナー（金子）
- 11月8～9日 きょうされん全国大会 in しが（成田、板鼻）
- 11月14～15、25日強度行動障害支援者養成研修実践（板鼻）
- 11月23日 CCV 人権研修
- 12月19日 強度行動障害支援者養成研修基礎（金子）
- 1月29～30日サービス管理責任者基礎研修（板鼻）
- 2月5～7日 発達障害地域生活・就労支援者研修会（青木）
 - ・社会福祉士資格取得研修（後藤）
 - ・新任研修（金子、佐々木）
 - ・ガイドヘルパー伝達研修
 - ・車椅子伝達研修
 - ・TAM 会議（青木）
 - ・KTU（複数事業所連携事業）（成田）
 - ・きょうされん会議（成田）
 - ・研修内容の回覧、周知
 - ・復命書の記入、回覧、報告

8. 安全・安心

(1) 防災管理

- ・年2回消防訓練実施（5/28・12/2）
※5/28災害時避難場所を口頭にて説明した
- ・消防設備点検の実施
- ・災害時における防災マップ、関係情報一覧表の掲示
- ・保存食体験：備蓄品の乾パンをコーヒータ임のおやつとして支給し保存食体験をする
- ・備蓄品の管理
- ・BCP作成
- ・防災マップ自宅位置の作成

(2) 危機管理

事故・ヒヤリハット

- ・利用者 3件 （足の腫れ、目の痣、走行中の車のドアを開けようとした）
- ・職員 1件 （利用者の薬の持ち忘れ）

毎月事故・ヒヤリハットを職員会議で報告・共有し、その後の対応を話合った。

※また、ヒヤリハットになりうる件も検討した。

小さなことでもドキッとしたり、危なかったなと感じたことを報告する必要性

(3) 苦情解決

受付 0件 （苦情に近い要望は3件受けた）

- ・おむつが下がっていたため、もっと上げてほしいとの要望があった。
- ・荷物を取られそうになり、そういう行為は危ないのではないかと指摘を受けた。
- ・他の利用者に顔を引っ掻かれたことを報告した際、気を付けてほしいと連絡があった。

苦情に近い要望については、苦情として扱い記録を残していく必要性を感じた。

(4) 虐待防止

- ・毎月の職員会議で虐待と感じたことを話合った。
（怪我、アザなどの把握、年相応の対応）
- ・毎月の支援会議で身体拘束等に関する経過観察・再検討を行った。

（車椅子の腰ベルトを使用しない、保護帽を作成し安全面を確保したなど拘束しない支援を目指した。）

- ・身体拘束に関する説明書の記入と個別支援計画書にも記載
- ・毎月虐待防止委員会の開催（虐待防止に関するパンフレットの保護者向け配布と嫌なことをされたらやめてと言おうと利用者向け説明、研修の開催）
- ・GHでの虐待事案について相談支援員に報告した。

9. 送迎の実施

- ・1年間事故なく安全に送迎を行うことができた。
- ・利用者さんの人数が増えたが、送迎の体制を組み直し円滑な送迎が出来た。

10. 地域・関係機関との連携

（1）広報・宣伝

広報紙の発行、HPの更新管理

- ・毎月発行のダック通信により日中一時と生活介護の様子を伝えることができた。併せてSNS（フェイスブック、Instagram～アート限定～）での広報活動を行った。
- ・CCVだよりの広報委員会に参加し定期的な発行を行うことに寄与した。
- ・HPの更新は手を付けにくい。も課題として挙げられる。

（2）家族支援

- ・送迎時での関わりが主だが、家族の話を聞くことでコミュニケーションがとれ信頼関係が築けた。
- ・家庭でのその時の状況に合わせ、電話で情報を共有したり、できる範囲で送迎の変更などの対応を行った。
- ・連絡帳の記入なし、送迎時も不在の家庭は様子の共有がしにくい。

（3）特別支援学校、学級実習生の受け入れ

特別支援学校とのつながりを大切にしたい

- ・栃木特別支援学校での事業所説明会に参加
- ・栃木聾学校での学校説明会に参加

（4）ボランティアの受け入れ

クラブ活動や余暇活動にボランティアが必要と感じる。今後ボランティアの依頼は必要。

(5) 関係機関

- ・各関係機関とつながり情報共有・交換を行う。

＊計画相談

きぼう、すばらうと、えすこーと、シンフォニーあわの、壬生町社協、ディンクル相談支援センター、ゆうの家

＊学校

栃木特別支援学校、栃木県立聾学校

＊その他

きょうされん、KTU、TAM、CO-BLUE

11. その他

CCV ダックの移転についてはウイステリアエステートさんによる新ダック建設を行った。

1. 総 括

今年度は、利用者さん同士の役割がきちんとできて、家とは違うが落ち着く場所、アットホーム感と相まって、まとまりがある1年となった。

特に活動内容の充実では、農作業をはじめ毎月の壁面飾りの制作、習字やぬりえなど集団での活動を意識して取り組んだ。

利用者さんのニーズに応えるためには、制度的・人力的に限界があるが生活介護の職員とも協力していろいろな体験、楽しい活動を増やしていきたい。

2. 年間利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	10	10	10	9	9	10	10	10	11	11	10	9	119
稼働日数	21	21	20	22	18	19	22	20	20	18	19	20	240
延利用者数	144	132	138	145	109	120	115	134	128	111	113	132	1521
1日平均利用者数	6.9	6.3	6.9	6.6	6.1	6.3	5.2	6.7	6.4	6.2	5.9	6.6	6.3

※主な欠席理由…家庭の都合

3. 担当職員

山本・池田

4. 年間支援実施内容

障利用者のニーズに合わせた作業を行うとともに余暇を充実させるための活動と支援を行った。

具体的な支援内容は、送迎・おやつ・散歩・野菜作り・習字・ぬりえ・学習などくつろいだ時間を過ごすことができた。

開所時間 平 日 12:00～17:50

5. 成果と課題

成果

- ・仕事の不安や困りごとなど傾聴を行った。
- ・利用者同士のかかわりの中で、自分でできることが増えた。

- ・定期的にフロアー内の掃除など快適な生活環境を提供した。
- ・おやつ作りや準備の手伝い等楽しみの中で経験をつむ活動をした。
- ・発語が困難な利用者には表情で汲み取る事が出来るように努力した。

課題

- ・利用者を増やす日中一時支援のPR。
- ・CCVウェルフェアとの情報の共有をとる。
- ・職員の専門性を高めるとともに、人権教育の充実、徹底。

6. 職員研修、職員会議、健康管理、衛生管理等実施内容

職員研修

動画研修も含め多様な研修に参加できた。
より良い支援の情報を得ることができ、職員のスキルアップにつながった。

職員会議

生活介護と合同で毎月1回開催した。
日誌を供覧し日々の状況を共有した。
利用者が困っている時など気づいた時にはその都度話をして情報を共有した。

健康管理

手洗い、うがいの慣行、消毒、体温チェック、こまめな水分補給などの継続。
万歩計アプリを使って散歩を行うことで目標をもって取り組めた。
健康診断後の通院を促した。

7. その他（建物等修理・修繕の実施、設備・備品等の整備内容等）

今年度も継続して多目的室の壁面を毎月季節感のある構図で飾ってきた。